

選手直前インタビュー

俺の出番だ!!



小川 勇介

(福岡/90期)

(昨年7月の落車で)鎖骨、ろっ骨を折ったりして、あの時が自分の底でした。そこからは思ったより(早く)手応えがあった。鎖骨のプレートも抜いたし、まだ(状態は)上がってくると思う。地元勢が活躍しないと盛り上がらないし、自分も最低、決勝には乗らないと。

松尾 信太郎

(福岡/92期)

ずっと調子が悪かったんですけど。嶋田誠也と練習する機会があって、その時にセッティングをいじってもらったらすごく良くなった。(1月の)大宮記念でも実戦用の自転車にそのセッティングを合わせたら良かった。嶋田のおかげ。地元は特別な気持ちだし、走る以上は活躍したい。



武井 大介 (千葉/86期)

昨年末から練習方法を変えた成果が早くも成績に表れている。1月は小松島に平記念でも優出。鋭さ戻ったキメ脚はここでも。



中村 圭志 (熊本/86期)

昨年1年間でA級 11Vの差し脚はS級復帰後も十分に通用している。オール3連対とヒットを飛ばした1月和歌山記念の再現を狙う。



林 慶次郎 (福岡/111期)

半年間のS級戦でしっかりと力を蓄え、今年はさらに飛躍の予感。走り慣れた地元G3なら上位進出が期待できる。



「第2回小倉濱田翁カップ」にて実施

GIRL'S KEIRIN

昨年大会に続き 児玉碧衣だ



児玉碧衣

主役はもちろん、グランプリ女王の児玉碧衣だ。1月岐阜の決勝ではまさかのまくり不発。5月静岡でのコレクション出場権も逃したが、立ち止まってはられない。ライバルの奥井迪、尾崎睦は11月当所グランプリトライアル1-1②着でねじ伏せている相手。早めの巻き返し策から再び圧倒して威厳を取り戻す。

奥井は前記の岐阜でも予選2、決勝と逃げて児玉に對抗していた。児玉との対戦成績は分が悪いが、駆け方を工夫して波乱を呼ぶか。

1月久留米のトライアル戦こそ一息だった尾崎だが、Vラッシュで近況は上々。好機に自力を出すか、児玉後位を取り切って迫る。

タテ脚が冴える當銘直美、自在戦の第一人者の荒牧聖未も連候補で外せない。